

校長室だより 5月号

No.2 文責:歳田和子

【令和6年度 KI・KU・SHI スポーツフェスティバル】

晴天のもと、スポーツフェスティバルを開催いたしました。

お陰さまで、暑さの中でも無事にプログラムを終えることができました。

今年度のスポーツフェスティバルは、各学部趣向を凝らした種目で会場を沸かせてくれました。精一杯頑張ることの楽しさや達成感を味わったことでしょう。この経験は、必ず将来役に立つ時が来ます。全校児童生徒・全職員が一致団結し、一つの目標に向かって全力を尽くした素晴らしいフェスティバルとなりました。応援してくださったご来賓の皆様、保護者の皆様、そして、ボランティアとして参加して下さった九州ルーテル学院大学の学生の皆様、本当にありがとうございました。

本校の強みは、なんととっても広いグラウンドと駐車場となる草原の広大さです。練習も心おきなく使えるのがありがたいです。各学部で時間を調整しながら練習を重ねてまいりましたが、子どもたちは日々成長し、演技など日を追うごとに上達していくのがよくわかりました。皆様の応援のおかげだと感謝申し上げます。胸上げされているのは誰？



【生徒の純粋な心に感謝です!!】

5月のある日、校長室前の壁に四葉のクローバーが押し葉となったしおりが掛けてありました。誰かがプレゼントしてくれたのです。なんと素敵なプレゼントだろうと、その人を探しました。実は、高等部のある生徒でした。よくよく話を聞いてみると本校運動場の広い草原の中から、四葉のクローバーを25個探し出し、それを使ってしおりを作って、先生たちにプレゼントしたということでした。本当に心温まる生徒の行動でした。

ご存じのとおり、本校は障がいのある児童生徒が学ぶ学校です。みんな精一杯学校生活を送っています。障害があってもなくても、素直な心で「人」を大切にしたい生き方をすることは、生涯にわたって幸せに生活できると考えています。

また、社会に出たら、周りの方々に「かわいがられる人」になるでしょう。そんなことを考えた1日でした。

